

# セルジンパテ

(ポリエステル樹脂下地塗料) 自然乾燥・焼付兼用型



**Saito**

**斎藤塗料株式会社**

# セルジンパテ

(ポリエステル樹脂パテ)

「セルジンパテ」は、弊社が全国的に御好評を得て発売して居ります各種下地類の特殊技術を生かし、鋭意研究開発したポリエステル樹脂パテであり、そのポリエステル樹脂の持つ優れた特性をパテとしてあらゆるテストを厳密に行って製品化されたものであります。

## 特 徴

- (1) 作業性、研磨性が優れている。
- (2) 硬化剤の混入量を変えることにより硬化時間を調節することが出来る。
- (3) 厚塗りしても硬化時間に影響がない。
- (4) 硬化時間が短い。
- (5) 貯蔵、安定性が優秀である。
- (6) 耐熱性 (150℃×30分程度の焼付は可能です)、耐酸性、その他物理的にも強い。
- (7) 硬化剤を混入したことがわかりやすい。
- (8) 肉ヤセがない。

## 使用法

「セルジンパテ」は二液型になって居りますのでパテと硬化剤が1セットになって居ります。

セルジンパテ……………ネズミ色

硬化剤……………青色、黄色

パテと硬化剤とはよく攪拌し、もし必要がある場合はセルジンパテうすめ液にて粘度調節して下さい。

硬化剤の混入率は気温により次の様に御使用下さい。

硬化剤の種類	パテの種類	可使時間				硬化時間			
		0℃	10℃	20℃	30℃	0℃	10℃	20℃	30℃
1%	夏用	—	50~60分	20~30分	5~10分	—	2~3時間	約1時間	40~50分
	冬用	30~40分	20~30分	5~10分	—	2~3時間	約1時間	40~50分	—
2%	夏用	—	20~30分	7~15分	3~7分	—	1~2時間	40~50分	約30分
	冬用	20~30分	10~20分	3~7分	—	1~2時間	40~50分	約30分	—
3%	夏用	—	10~20分	3~7分	3分以下	—	約1時間	30~40分	約30分
	冬用	10~20分	5~10分	3分以下	—	約1時間	30~40分	約30分	—

可使時間＝硬化剤混入後、容器の中でパテの流動性を失い、使用出来なくなるまでの時間を云いますが硬化剤の混入率、温度等により多少の差異はあります。

硬化時間＝ペーパーで空研ぎ出来るまでの時間です。

## 注意事項

- (1) セルジンパテ、硬化剤は火気厳禁は勿論のことですが、直射日光は必ずさける様充分御注意願ひ、冷暗所に保存して下さい。
- (2) 多品種のパテやシンナーと混合しない様に御注意して下さい。
- (3) 塗装物が鉛、銅等は多少硬化時間が長くなります。
- (4) 塗装器具の洗浄にはセルジンパテシンナーを御使用下さい。
- (5) 空研ぎの際は#150～#180ペーパー、水研ぎには#280～#320ペーパーを御使用下さい。
- (6) 一度に厚付けすると内部に気泡が出来素穴を生じやすいので2～3回に分けヘラ押さえを充分行って下さい。



## 性状試験

衝 撃 試 験	1/2 R×Wt 500g×Hei 30cm
揮 発 減 量 (%)	1.5以下
沸 騰 水	60分間異常なし
密 着 性	異常なし
耐 熱 密 着 性	150℃×20分間異常なし

上記の試験は磨き鋼板にパテ付け（膜厚0.25mm）し、48時間乾燥後、浸漬して引き上げた塗膜の状態を示したものであります。

## 用 途

- (1) 自動車、車輛、溶接部分、その他各種金属類の凹凸処理。
- (2) 鋳物の素穴、キレットの補修用。
- (3) その他各種の穴埋め用。

## 容 量

セルジンパテ	4 kg
硬 化 剤	100g

## そ の 他

消 防 法	第二類引火性固体
労働安全衛生法	スチレン……10～20%
	引 火 点…… 31℃
	発 火 点……490℃